■使用評価マニュアル:CASBEE-新築(簡易版)2006年版 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2006(v.1.21)

京都市立首共高等学校参与系統事業		欄に数値またはコメントを記入	■評価ソフト:		CASBEE-NCb_2006(v		·.1.21)
スコアシート 配慮項目			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		
		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み	報信点 重み		全体
つ 建築物の	D環境品質・性能			係数		係数	3.8
Q-1 室内環				0.40			3.6
1 音環境			4.6	0.15	-	-	4.6
1.1	騒音	世界1947年 177世界 177世界 1871年 1871	5.0	0.40	-	-	
	1 暗騒音レベル 2 設備騒音対策	構造と縁を切った入子構造の教室(二重サッシ, 遮音壁+乾式壁,	5.0	1.00	-	-	
12	2 設備騒音対策 遮音		5.0	0.40	-	-	
	1 開口部遮音性能	二重サッシ	5.0	0.40	-	-	
	2 界壁遮音性能	音楽系教室の界壁D-60以上	5.0	0.30	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	RCスラブ厚さ180+浮き床構造	5.0	0.15	-	-	
10	界床遮音性能(重量衝擊源)	RCスラブ厚さ180+浮き床構造	5.0	0.15	-	-	
2 温熱環	<u>吸音</u>		3.0	0.20	-	-	3.0
	室温制御		3.0	0.50	-	-	0.0
	1 室温設定		3.0	0.60	-	-	
	2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
	3 外皮性能		3.0	0.40	-	-	
	4 ゾーン別制御性 5 温度・湿度制御		3.0		_		
	6 個別制御		_	_	-	_	
	7 時間外空調		-	-	-	-	
	8 監視システム	4	-	-	-	-	
	湿度制御	4	3.0	0.20	-	-	
3 光・視環	空調方式		3.0	0.30	-	-	3.3
	限场 昼光利用		3.0	0.25			3.3
0.1	1 昼光率		3.0	0.60	-	-	
	2 方位別開口		-	-	-	-	
	3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2	グレア対策	-	4.0	0.30	-	-	
	1 照明器具のグレア 2 昼光制御	 1階軒庇:1.9m+ブラインド 3階軒庇:0.9m+ブラインド	4.0	1.00	_		
3.3	照度	THE TIME THE THE THE THE THE THE THE THE THE TH	3.0	0.15	-	-	
5.5	1 照度		3.0	1.00	-	-	
	2 照度均斉度		-	-	-	-	
	照明制御		3.0	0.25	-	-	4.0
4 空気質	環現 発生源対策		4.2 5.0	0.25	-	-	4.2
7.''	1 化学汚染物質	規制対象外の材料を全体的に採用。ホルムアルデヒド以外のVO	5.0	1.00	-	-	
	2 アスベスト対策		-	-	-	-	
	3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
42	4 レジオネラ対策 換気	-	3.0	0.30	-	-	
4.2	1 換気量	-	3.0	0.33	-	_	
	2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
	3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
40	4 給気計画		-	-	-	-	
4.3	運用管理 1 CO ₂ の監視		4.0 3.0	0.20 0.50	-		
	2 喫煙の制御	建物全体の喫煙が確認されている	5.0	0.50	-		
Q-2 サービ	ス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性			3.4	0.40	-	-	3.4
1.1	機能性・使いやすさ	-	4.0	0.60	-	-	
	1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応	1		-			
	3 バリアフリー計画	ハートビル法利用円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2	心理性・快適性		2.5	0.40	-	-	
					-	-	
	1 広さ感・景観		1.0	0.50			
	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース	- - - インテリアパースによる内装計画の事例検証の実施	-	-	-	-	
2 耐用性	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画	インテリアパースによる内装計画の事例検証の実施	-	0.50 - 0.50 0.31	-	-	3.6
2 耐用性	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震		4.0 3.6 3.8	- 0.50	-	- - -	3.6
	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震 1 耐震性	インテリアパースによる内装計画の事例検証の実施 建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0	0.50 0.31 0.48 0.80	-	- - -	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免害 1 1 耐震性 2 免震・制振性能		4.0 3.6 3.8 4.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20	•	- - - - -	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数		4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33	- - - -	- - - - - -	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免责 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20	-		3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12 0.29			3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震 1 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 小壁仕上げ材の補修必要間隔 2 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12			3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 適切な更新	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12 0.29		-	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・/信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 適切な更新 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12 0.29	-	-	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 適切な更新	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12 0.29	-	-	3.6
2.1	広さ感・景観	建築基準法の25%増しの耐震性を有している 内部主要間仕切りEP仕上げ	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0 4.2	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12 0.29	-	-	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・/信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 2 配管・配線材の更新。 2 配管・配線材の更新。 2 配管・配線材の更新。 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新 2 配管・配線材の更新 2 配管・配線材の更新 3 主用設備機器の更新	建築基準法の25%増しの耐震性を有している 内部主要間仕切りEP仕上げ 換気設備の重要度に応じて系統区分、熱源種の分散化、二重化、	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.12 0.29 0.29 	-	-	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 外壁仕上げ材の連新必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 5 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新 2 配管・配線材の更新 2 配管・配線材の更新 5 配筒・配線材の更新 6 額切な更新 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新 2 配管・配線材の更新 2 配管・配線材の更新 3 主用設備機器の更新 信頼性 1 空調・換気設備 2 給排水・衛生設備	建築基準法の25%増しの耐震性を有している 内部主要間仕切りEP仕上げ 検気設備の重要度に応じて系統区分、熱源種の分散化、二重化、 節水型器具、受水槽(二基)、井水の利用	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0 4.2 5.0 5.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.33 0.29 0.12 0.29 0.29 - - 0.19 0.20 0.20		-	3.6
2.1	1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース 3 内装計画 ・/信頼性 耐震・免震 1 耐震性 2 免震・制振性能 部品・部材の耐用年数 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔 2 配管・配線材の更新。 2 配管・配線材の更新。 2 配管・配線材の更新。 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新 2 配管・配線材の更新 2 配管・配線材の更新 3 主用設備機器の更新	建築基準法の25%増しの耐震性を有している 内部主要間仕切りEP仕上げ 換気設備の重要度に応じて系統区分、熱源種の分散化、二重化、	4.0 3.6 3.8 4.0 3.0 3.2 3.0 5.0 3.0 3.0 5.0 3.0 5.0 3.0	0.50 0.31 0.48 0.80 0.20 0.12 0.29 0.29 			3.6

3 対応性·更新性		3.6	0.29			3.6
3.1 空間のゆとり		4.0	0.29	_		3.0
	階高3.8m以上	4.0	0.60			
· FEID 97.7 C 7	時間 5.5 m 女工 単長 さ 比率 0.12			-	-	
		4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり	3,000N/㎡以上	4.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	4.4
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	_		3.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域的な歴史的まちなみ景観の継承する外観デザイン		0.40			
	20次に16位人にありなり、京都の7位がアッツー就アットン	5.0		-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		5.0	0.30	-	-	5.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	記念碑の保全, 地域利用施設の設置, 中庭空間	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	風を導く建物配置, 緑地, 空地, 通路の確保, 屋上の室外機置場	5.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			i .			3.6
LR-1 エネルギー		_	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制	PAL值 30%減	5.0	0.30			5.0
2 自然エネルギー利用		3.5	0.30			3.5
	井水利用(便所排水)		0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	フレイトキュアロ (1)生 (1) 7 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	4.0			-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用		4.0	0.20	-	-	4.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	主要設備システムびおいて、最適体制を提案	5.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル		_	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護		3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水	自動水洗, 節水便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用·雑排水再利用		3.6	0.60	_	_	
1 雨水利用システム	雨水貯留(屋外散水)	4.0	0.67	_	_	
2 雑排水利用システム		3.0	0.33	_	_	
2 低環境負荷材		3.9	0.85	-	_	3.9
2.1 資源の再利用効率		5.0	0.35	_		0.0
1 躯体材料の再利用効率	鉄骨(小型形鋼)に電炉鋼を使用, 高炉セメントB種を使用	5.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	リサイクル材を使用したノンスリップ、舗装材の使用	5.0	0.07	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	リッイブル物を使用したプラスリック、 硼表物の使用	3.0	0.33	-	_	
		3.0		-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			0.08	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	OAフロ ア	3.0 4.0	0.18 0.18		-	
2.5 部材の再利用可能性	OA7H)		4	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避	ハロン消化材をいっさい使用していない	3.3	0.18		-	
1 消火剤	ハロン用心材をいうさい使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材		3.0	0.33		-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境		_	0.30	-	-	2.6
1 大気汚染防止		3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2.2 振動		3.0	0.33	•	-	
2.3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制		1.6	0.15	-	-	1.6
3.1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制	広告塔なし、周辺環境に調和した屋外照明	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善		2.0	0.30	-	-	2.0
6_地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.15	-	-	3.5
6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.25	•	-	
6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪場と駐車場	4.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	分別回収に必要なスペースを設置	4.0	0.25	-	-	
			_			

₹~1 用途別得点表		学校	_	_	-	面積按分
		9418 ㎡	-	_	1	総合スコア
建物の熱負荷抑	制	5.0	-	-	1	5.0
		4.0	-	-	-	4.0
高効率化	個別設備による評価	-	-	-	ı	
空調設備		4.0	-	-	-	-
換気設備		3.0	-	-	•	-
照明設備		5.0	-	-	-	-
給湯設備		-	-	-	-	-
昇降機設備		-	-	-	-	-
	建物の熱負荷抑 設備システムの 高効率化 空調設備 換気設設備 統湯設備	建物の熱負荷抑制 設備システムの 高効率化 個別設備による評価 空調設備 換気設備 照明設備 給湯設備	建物の熱負荷抑制 9418 ㎡ 設備システムの 高効率化 ERRによる評価 4.0 空調設備 - 換気設備 3.0 照明設備 5.0 給湯設備 -	9418 ㎡ ー 建物の熱負荷抑制 5.0 ー 設備システムの 高効率化 ERRによる評価 4.0 ー 値別設備による評価 ー ー 空調設備 4.0 ー ー 換気設備 3.0 ー ー 照明設備 5.0 ー ー 給湯設備 - -	9418 ㎡ ー ー 建物の熱負荷抑制 5.0 ー ー 設備システムの 高効率化 ERRによる評価 4.0 ー ー 個別股備による評価 - ー ー 空調設備 4.0 ー ー - ー 換気設備 3.0 ー ー - ー 総別設備 5.0 ー ー - ー 給湯設備 - ー ー - ー	Yell